

ふる とりの へ



町花：山百合

議会だより

3月定例会

No.175

古殿町議会

令和8年4月20日

- 道の駅拡張事業など新年度予算を可決 …… 2
- 道の駅拡張工事契約変更の議案を可決 …… 5
- 一般質問：令和8年度事業など5議員が11問 …… 9
- まちの企業紹介：(株)藤美屋古殿アネックス …… 16



元気に返事できました
(4月6日 古殿小学校入学式)

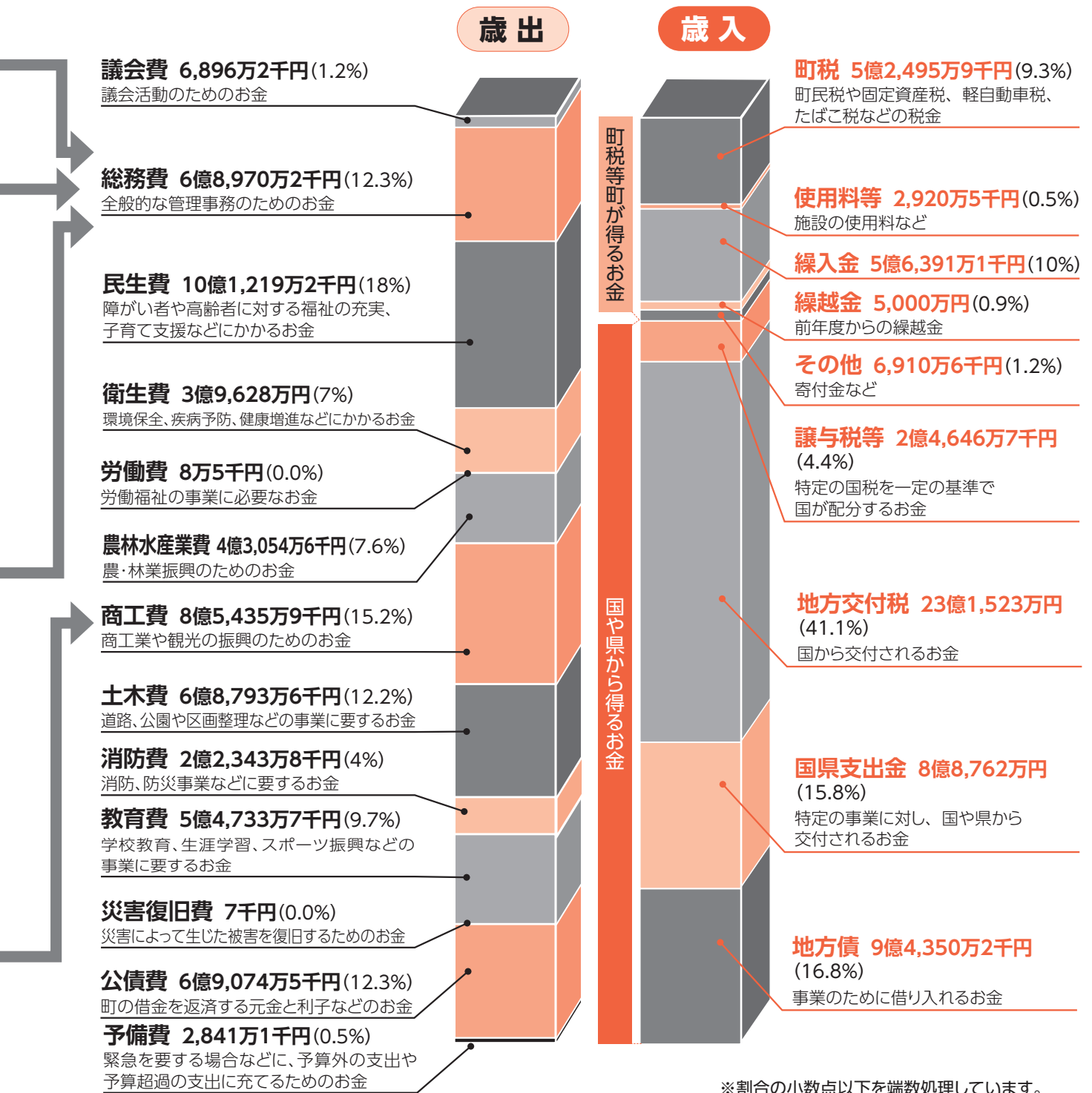


町の活性化を推進

令和8年度
予算

古殿町のお金の仕組み

一般会計予算 **56億3,000万円**



※割合の小数点以下を端数処理しています。

道の駅拡張事業など



町を振興する主な事業



活性化事業

町制施行70周年記念式典

記念式典や歌謡ショーなどの記念イベントを実施する。

● **1,320万円**

イメージ
※中島村の乗合タクシー



福祉

コミュニティタクシー運行

予約制で町外も目的地とする有料タクシーを運行。

● **1,587万円**



情報発信

ホームページ更新

町のホームページのデザインを一新し、より読みやすいサイトにリニューアルする。

● **405万円**



交流人口拡大

道の駅拡張工事

直売所などの建築や外構工事を行う。令和9年度継続事業。

● **7億6,429万円**

3月定例会

3月定例会は3月12日から3月18日まで、7日間の会期で開催された。

新年度予算をはじめ、一般会計第8次補正予算や職員の給与に関する条例の一部改正など29議案が原案の通り可決された。

町の活性化を目指して

令和8年度古殿町

一般会計予算

町制施行70周年 記念事業

Q 日程や内容は。

A 記念式典と歌謡ショーを予定している。記念式典は9月下旬の土曜日を予定しているが、歌謡ショーは未定。

Q 今までの歌謡ショーは年配の方が多く来場された。若い人も楽しめるイベントを考えてほしい。

A 参考にします。

農業機械導入支援

Q 兼業農家や小規模農家に対する支援は。

A 検討したが実施に至らなかった。

Q 予算額が減っているが、農業支援は目的を達成したのか。

A 予算額は減ったが件数としては7年度とほぼ同じ。

移住定住施策

Q 交流人口拡大に資するフルドノタイムは移住定住につながったか。

A 今のところ実績はない。

Q 移住定住促進補助金の内容と利用された方は。

A 町外から移住される子育て世帯等が住宅を取得する場合の補助金。利用者は令和元年度に1人、2年度に2人、7年度も1人が利用予定。

Q 空き家対策支援事業補助金の内容と利用された方は。

A 空き家を活用した移住への県の補助で、7年度の該当はなかった。

中小企業借入金

利子補給金

Q 8年度から増額した要因は。

A 7年度の当初予算は500万円だったが100万円補正したため、実績を見て予算計上した。

Q 8年度も予算を使い切れれば補正するのか。

A 検討していきたい。

スポーツ振興

Q ふくしま駅伝の参加は。

A 近年は参加の継続が困難になっている。参加する考えで、選手の確保に尽力する。

Q 町民水泳プールの委託料が増えている要因は。

A プールの老朽化により、修繕箇所
の調査や修繕の設計委託をする。

討論

反対 岡部淳一 議員

予算編成に大きな問題がある

コミュニティタクシー事業の内容は判然とせず、道の駅拡張事業の進捗と工程は納得できる説明がない。少子高齢化や人口減少、若者定着対策では多くの提案をしてきたが、それを形にすることで、違った方向性も必要だと反対する。

賛成 鈴木 隆 議員

必要な財源措置がとられている

有利な財政措置のある地方債や基金を活用しており、コミュニティタクシー事業、赤ちゃん誕生祝金事業、道の駅ふるどの拡張事業など、町民福祉の向上につながる事業となっていることを認め、本予算を賛成する。

起立多数 可決

盛土工事の増加などのため

道の駅拡張工事469万円の増額

内容

- 盛土工事の請負額の増加
 - 土材料の増加
 - L型擁壁工事の延長
 - 工期は令和8年5月29日に延長
- 変更の事由**
- 盛土材の搬入に時間を要する
 - 擁壁の納品までに時間を要する

変更前の工事の進捗率は

A 金額ベースで約35%。現在、盛土搬入と敷均し等が一部終わっている。

469万円の積算内訳は

A 盛土分で約20%から30%、残りがL型擁壁工事分となる。

現在の進捗率で、延長した工期内に竣工できるのか

A 施工可能な日数で工程を組んだため、完成できる。

工程会議での確認に慎重さが欠けているのか

A 工程会議は発注後に毎月1回、業者と進捗状況の確認を行っていた。



変更契約のあった道の駅拡張工事

討論

反対

野崎喜彦 議員

変更契約の事由が不明確

土地の調査不足や土の調達不足などは請負業者の準備不足によるもので、工程管理が不十分だったのではないか。

6930万円分の工事を完成させて、次の請負契約で継続して造成が進められれば、何の問題もない。変更契約を結ばなくても工事の進捗に支障がないため反対する。

起立多数

可決

全員協議会

道の駅拡張事業について説明

3月12日に行われた全員協議会では、道の駅ふるごとの拡張工事の変更内容や、道の駅整備工事の設計図、今後の工程について説明があった。

道の駅の今後の工程について

- 令和8年度
 - 調整池設置を含む造成工事
 - 直売所施設等の建築工事
- 令和9年度
 - 直売所施設等の建築工事
 - 外構工事

※拡張事業については令和8、9年度の継続事業として、9年度末に完成予定



道の駅拡張事業についての全員協議会



賛

否

3月定例会

○は賛成、×は反対、緑川議長は採決に加わらない。

議案番号	議案名	採決	根本重一	根本太郎兵衛	鈴木隆	野崎喜彦	佐川勇司	佐藤一夫	岡部淳一	木戸久康	松崎法通	緑川栄一
議案第1号	専決処分の承認を求めることについて (令和7年度古殿町一般会計第7次補正予算) 第51回衆議院議員総選挙に係る経費709万円の増額	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 国・県の改正に準じて通勤手当の上限を引き上げる等の改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号	職員等の旅費に関する条例 国・県の旅費に関する法令の改正に伴い、旧条例の全部を改正。 宿泊手当の新設による日当や食卓料の廃止など	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号	古殿町赤ちゃん誕生祝金支給に関する条例の一部を改正する条例 第一子は10万円、第二子は20万円に引き上げる	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号	古殿町立認定こども園条例の一部を改正する条例 関係する法令等の改正による所要の改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第6号	古殿町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 関係する法令等の改正による所要の改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第7号	古殿町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 関係する法令等の改正による所要の改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第8号	古殿町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 関係する法令等の改正による所要の改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号	古殿町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 関係する法令等の改正による所要の改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号	古殿町乳児等通園支援事業に関する条例 保育所等に通っていない満3歳未満の子どもが一定時間通園可能となる制度の施行	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号	古殿町道路占用料徴収条例の一部を改正する条例 福島県条例の改正による所要の改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第12号	古殿町奨学資金貸付基金条例の一部を改正する条例 貸付額について専修学校と大学を月5万円に引き上げる	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第13号	公の施設に係る指定管理者の指定について 集会センター等の管理者を指定する	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第14号	古殿町過疎地域持続的発展計画の策定について 新たな過疎計画を策定する	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第15号	古殿町辺地総合整備計画の変更について 山上・大久田・論田辺地における令和8年度計画の変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第16号	工事請負契約の変更について 敷地造成・擁壁工事の変更による契約金額の増額(P5に掲載)	可決	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○
議案第17号	令和7年度古殿町一般会計第8次補正予算 各種事業の確定により2億1,336万5,000円を減額する	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第18号	令和7年度古殿町国民健康保険特別会計第4次補正予算 療養給付費等の増により9,843万3,000円を増額する	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第19号	令和7年度古殿町介護保険特別会計第3次補正予算 施設介護サービス給付費等の増により3,100万円を増額する	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第20号	令和7年度古殿町後期高齢者医療特別会計第3次補正予算 保険料の減等により380万8,000万円を減額する	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第21号	令和7年度古殿町宅地造成事業特別会計第3次補正予算 1区画の販売が見込まれるため375万9,000円を増額する	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議案番号	議案名	採決	根本重一	根本太郎兵衛	鈴木隆	野崎喜彦	佐川勇司	佐藤一夫	岡部淳一	木戸久康	松崎法通	緑川栄一
議案第22号	令和8年度古殿町一般会計予算 56億3,000万円とする(前年度比9.3%増。P2~4掲載)	可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	△
議案第23号	令和8年度古殿町国民健康保険特別会計予算 6億5,845万円とする(前年度比12.8%増)	可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	△
議案第24号	令和8年度古殿町介護保険特別会計予算 8億3,051万2,000円とする(前年度比1.6%増)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△
議案第25号	令和8年度古殿町後期高齢者医療特別会計予算 7,187万2,000円とする(前年度比3.2%増)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△
議案第26号	令和8年度古殿町宅地造成事業特別会計予算 2,302万9,000円とする(2,302万6,000円の増 ※繰越金を見込む)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△
議案第27号	令和8年度古殿町簡易水道事業会計予算 収益的収入は9,951万3,000円、収益的支出は9,774万3,000円	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△
議案第28号	令和8年度古殿町下水道事業会計予算 収益的収入は農集で1億1,474万円、林集で4,703万9,000円、 収益的支出は農集で1億1,477万6,000円、林集で4,705万7,000円	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△
議案第29号	工事請負契約の締結について 町道下論田鵬巣線の道路改良工事を1億285万円で 株式会社三森建設が落札	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△
議員発議第1号	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書 最低賃金の全国平均を1,500円に引き上げる目標到達に向けて 福島県最低賃金の継続的かつ着実な引き上げを求める	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△

第1回臨時会 (3月27日)

議案番号	議案名	採決	根本重一	根本太郎兵衛	鈴木隆	野崎喜彦	佐川勇司	佐藤一夫	岡部淳一	木戸久康	松崎法通	緑川栄一
議案第30号	副町長の選任について 鈴木一彦氏を選任する (P 7に掲載)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△



すずき かずひこ
鈴木 一彦 氏

住所 松川字新桑原
期間 令和8年4月1日～
令和12年3月31日

3月27日、人事案件に関する臨時会
が開催された。前総務課長の鈴木一彦
氏を副町長に選任する議案が提出され、
全会一致で同意した。

臨時会人事案件
副町長の
選任に同意

常任委員会の活動

竹貫田川河川改修等を視察 工程管理の徹底を

総務常任委員会は河川改修事業竹貫田川や道の駅拡張事業などの繰越工事、解体予定の高房青少年自然の家などを調査した。

また、付託された請願について、1件を採択した。



竹貫田川を視察する委員

意見

(竹貫田川)

- 工程管理の徹底を。
- 繰越のないように発注に注意が必要だったのでは。

(道の駅ふるどの)

- 半年で出来高が20数%。残り2か月で完成するのか。
- 擁壁は早期に納品できたのではないか。

道の駅拡張工事等を視察 繰越に委員会は慎重な対応

産業建設常任委員会は道の駅拡張事業や町道越代熊倉線、町道下論田鵬巣線などの繰越工事を調査した。



道の駅ふるどの拡張事業を視察する委員

意見

(道の駅ふるどの)

- 繰越はやむを得ないが、慎重に対応すべき。
- 出店希望者への説明は。
→3月下旬を予定
- チャレンジショップやその臨時店舗の考えは。
→チャレンジショップは予定している。臨時店舗はキッチンカースペース等の活用で対応したい。

一般質問



町政を質す

- 町民の声を伝える
- 町政に生かす
- 町の考えをたずぬ

3月17日に5人の議員が11問の一般質問を行いました。質疑の一部を要約してお伝えします。

鈴木 隆 議員10

- (1) 令和8年度主要事業を問う
- (2) 町内受託団体に対する業務評価と委託費用の考えについて

根本 重一 議員11

- (1) 少子化に伴う義務教育環境整備について
- (2) 高齢者支援の「共助」の考え方について

野崎 喜彦 議員12

- (1) 公共用地の譲渡計画と方向性について
- (2) 「みんなが元気でいられる活気ある町づくり」に向けた基本理念を問う

岡部 淳一 議員13

- (1) 当初予算編成における基本的な考え方
- (2) 古殿町における子ども子育て支援の在り方
- (3) 町内における持続的環境整備の現状と方向性

松崎 法通 議員14

- (1) 来年度事業の内容について
- (2) 基金として購入した債券の今後の在り方は

8年度主要事業

Q 町ホームページ更新業務は従来
に対してどう進化させるのか

A デザインを刷新し、利用しやすい
ホームページにする



すずき たかし
鈴木 隆 議員

鈴木 妊婦にやさしい遠方出産支援事業は、少子化対策に資するものと思うが、予算枠に達した場合、追加補正を行うか
町長 国、県の予算の動向による。
鈴木 交流人口拡大事業の「各種イベント参加」とは具体的に何か。
町長 首都圏で開催される「ぶくしま産直市」、「ぶくしままるごとフェア」、「ぶくしまフエスタ」、「ぶくしま暮らし&しごとフェア」に参加する。
鈴木 道の駅拡張事業の一環として、育成店舗



道の駅で運営されているチャレンジショップ
(道の駅 伊達の郷りょうぜん)

「チャレンジショップ」は必須と考えられるが、スペースの検討は。
町長 新しい建物内にチャレンジショップのスペースを確保する計画。
鈴木 簡易水道事業「配水管布設替」は重要な事業と認識するが、先般、老朽化による水道管破裂事故で4日間にわた

る断水が発生した。同様の事故を防ぐため、老朽管路の把握状況と今後の対応は。
町長 老朽管路の把握は水道台帳により行っている。
今後の対応は現在進めている基幹改良事業で対応を計画する。

受託団体対応

Q 各受託団体の仕事量に対する
委託費決定の根拠は

A 実績報告により勘案している



受託団体による清掃作業
(鎌倉岳登山道大作口駐車場)

鈴木 委託費用を改定する考えはあるのか。
町長 除草作業や施設点検の実施状況などを勘案しながら、来年度委託費の改定を検討する。

その他の質問
「コミュニティタスクシー運行事業」についての質問も行った。

教育環境対策

Q 今後の児童生徒数は

A 7年後に小学生79名・中学生59名の
見込み



ねもと しげかず
根本 重一 議員



合同部活動で県大会出場
(古殿中・東北中・玉川中の合同チーム)

根本 児童生徒数の減少を踏まえた教育環境の方針は。

教育長 児童生徒数が減少しても教育環境は後退させず、児童生徒が安心安全に学べる施設や、ICT環境の整備をする。

根本 小中一貫教育や義務教育学校の導入は。

教育長 中学校校舎老朽化と児童生徒数の減少の現状から、定例教育委員会、総合教育会議で検討している。

根本 ICT機器やデジタル教材の整備と今後の更新計画は。

教育長 1人1台のタブレット端末の整備、電子黒板設置、小学5・6年生と中学生にデジタル教科書を提供している。令和8年度にタブレットの更新を計画している。

合同部活動で県大会出場(古殿中・東北中・玉川中の合同チーム)

高齢者支援対策

Q 高齢者の世帯は

A 町内世帯の30%以上が
一人暮らしを含む高齢者世帯

根本 中学校部活動の地域移行や合同部活動の取組は。

教育長 現在中学校で部活動検討委員会を実施。今後の生徒数や教員数を考えながら部活動数等の整理をしている。合同部活動は、女子ソフトボール部が玉川中と合同で昨年、県大会に出場した。

根本 高齢者のみ世帯や一人暮らし高齢者増加の課題認識は。

町長 周りの方の支援を含め、自宅で生活するための環境が整わない点が課題と考えている。

根本 高齢者支援における「共助」の基本方針は。

町長 特に基本方針は定めていない。

根本 買い物や通院などの移動支援を地域で支え合う仕組みづくりは。

のと考える。

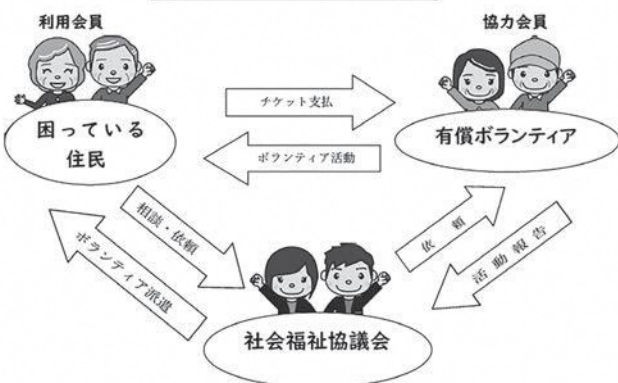
根本 「ゴミ出しや除雪、軽微な修繕など日常生活支援を担う「共助」の仕組みをどのように構築していくか。

町長 地域の皆さんの理解のもと、成り立つものとする。

根本 「共助」活動を担う人材の確保や育成のための支援策は。

町長 お互いに助け合う仕組みであり、支援策等は特にない。

有償ボランティアの仕組み



有償ボランティア「支え合い活動」

Q 公共用地の譲渡と 企業誘致用地の確保は

町有地活用

A 旧大原小跡地の譲渡の入札は不落



のざき よしひこ 議員
野崎 喜彦

過疎化の進行とともに町内全域で空き家が増加し、農地も遊休地や耕作放棄地が増加傾向にある。今後、公共用地や森林資源、そして、農地などの有効利用を図る必要がある。

野崎 公共施設運営で、土地の借受けにより運営している物件の総数は。

町長 西渡団地や越代のサクラ公園などで、国有地の貸付を受けている町道等を除き、19件ある。
野崎 旧大原小跡地の譲渡(売買)はどのように進めたのか。

町長 3月10日に3者による入札を執行したが、不落だった。



譲渡の入札が不落だった旧大原小跡地

野崎 旧イセ食品跡地の譲渡はどう進めるのか。

町長 現時点で売却の予定はない。

野崎 公共用地や施設で譲渡を検討している物件はあるか。

町長 遊休財産の処分等を今後検討する。

野崎 企業誘致を目的とした用地確保の計画は。
町長 今後検討したい。

Q みんなが元気でいられる 活気ある町づくりを

A 道の駅拡張は国の交付 金を申請中

町づくり

岡部町政は6期目の最終年度を迎えた。23年におよぶ町政運営の中で、「小学校統合」や「やぶさめアリーナ」などの建設や、「給食の無償化」「農業支援」など実績評価は高い。しかし、「公共交通体系整備」と「道の駅拡張事業」は長い年月を要しながらも、未だ整備・完了に至っていない。

野崎 「コミュニティタフシー事業」とはどのようなものか。

町長 福祉バス、へき地バスを補完するタクシーの利用形態の導入を考えている。

野崎 「道の駅ふるとの拡張事業」の財源の確保と独自の取組は何か。

町長 国の交付金を申請中で、採択されれば2分の1の補助となる。残りは起債を充当したい。チャレンジショップやコイ



多くの人が参加したフルドノタイム
(田植え体験プログラム)

野崎 「フルドノタイム」の成果・実績はどう生かされるのか。

町長 37のプログラムで参加者の延べ人数が620人、うち町外者が358人。リピーターも増加している。続けて交流人口拡大につなげたい。

議会トピックス⑤

3世代交流会と料理教室を開催 2月1日(日)、田口地区公民館主催の「3世代交流会」と「料理教室」が子供からお母さんやお年寄りまで多くの人たちで賑わった。子供がお年寄りから「縄もじり」や「竹とんぼづくり」を教わるなど交流を深めた。昼には、手作りハンバーグを参加者全員でご馳走になり楽しいひと時を過ごした。(野崎喜彦)

8年度予算



おかべ じゅんいち 岡部 淳一 議員

Q 予算編成における基本的な考え方は

A 第7次振興計画の実現に向けた効果的・効率的な予算編成へ



元気いっぱいの新1年生

住民生活が物価高の影響を受ける渦中にある。施策内容を伺う。
岡部 来年度予算編成で主眼とした考えは何か。
町長 第7次振興計画の実現に向けた効果的・効率的な予算編成である。
岡部 予算編成上、収

支バランスでの問題は。町長 必要な事業で不足する財源は、財政調整基金等の繰入れをするため、問題はない。
岡部 新規事業で特に勘案したことは何か。
町長 新規事業全てに等しく重きを置いて立案した。

岡部 人口減少、少子高齢化対策につながる施策した事業は何か。
町長 どの事業も人口減少、少子高齢化対策につながる。昨年3月から第3期目に取り組みされている。今後の進め方について伺う。

子育て支援

Q 子ども・子育て支援の在り方は

A 子育てしやすい環境を整えること

「老人福祉事業」がある。岡部 今後の町づくりで絶対欠かせない観点をどう考えるか。
町長 町民が住んでよかったと感じることだと捉える。

子ども子育て支援事業計画は、昨年3月から第3期目に取り組みされている。今後の進め方について伺う。



小学生になる園児

岡部 支援事業としてこの事業に求めていることは。
町長 子育てしやすい環境を整えることである。
岡部 1・2期を通じて成果は得られているか。
町長 一定の成果はあるものと考えている。
岡部 これまで取り組んできた事業数と来年度から取り組む事業は。
町長 第3期事業計画に列挙した地域子ども・子育て支援事業のうち10事業に取り組んでいる。令和8年度から乳児等通園支援事業に取り組む予定。

岡部 第3期事業計画と来年度主要事業の関連性は。
町長 事業計画に掲載されていない事業もあるが、子育て支援という点で有効な事業である。
岡部 今後取り組む事業の方向性は出ているか。
町長 従来からの事業の継続と、効果的な事業実施に取り組む。

その他の質問
「町内における持続的・環境整備の現状と方向性」についての質問も行った。

8年度事業

Q 来年度の事業内容と取り組みは

A ふるさと納税の返礼品を拡充する



まつざき のりみち 議員
松崎 法通

松崎 地域おこし協力隊の隊員確保は大変と思うが、その隊員にもお願いをしたいふるさと納税業務ですが、返礼品の拡充はどのように考えているのか。



くでしゅう 組手汁
返礼品として人気の組手汁

町長 令和7年度にはやぶさめくん関連のTシャツやきな粉などを返礼品に追加し、今後も拡充に努める。

松崎 コミュニティタクシー運行事業はどのような内容なのか。

町長 町内の公共交通は福島交通の路線バス、福祉バス、へき地バスを運行しており、それらを補完するタクシーストックを導入するもの。

松崎 タブレット更新事業は耐用年数が過ぎたのか。

財政

Q 基金として購入した債券の今後の在り方は

A 町づくりに生かす財産と考える

か。子どもたちの習熟度はどうか。

町長 耐用年数が経過しての更新事業。リモート学習についての子どもたちの習熟度は、学年に応じたレベルで学びに役立っていると認識している。

わが町の基金管理の在り方が、銀行定期預金から債券購入にシフトして、令和7年10月現在、約26億円近い債券を購入しているが、債券価格を今後どのように見通しているのか。また、基金をどのように活用する計画か。

松崎 今後も資金に余裕があれば、債券の購入を考えているのか。

町長 資金の状況により考えていく。



入学式に臨む新中学生

松崎 大きな事業などで、財政がひっ迫した場合、償還期前でも購入した債券の一部を売却することもあるのか。

町長 その可能性は否定できないが、あくまで満期まで保有することを基本としている。

松崎 これまでの多額の基金をどのように活用する計画か。

町長 今後の町づくりに生かしていく財産と考える。

追跡レポート

その後 どうなった？

テーマ

带状疱疹予防ワクチンに対する助成は

Q 令和6年9月一般質問から

带状疱疹予防ワクチンに対する助成を考えるべきと思うが、町の考えは。

A 町長答弁

厚生労働省においてワクチンについての制度、方針等を議論しているところであり、町としての助成はその後を検討すべきと考えている。

病気を未然に防ぐことが大切だよね！



しももちー

平成27年の中学生議会で誕生！

その後の
対応

令和7年度より助成が始まった

- 自己負担額 組み換えワクチン 6,500円（接種費用21,800円、町負担15,300円）
生ワクチン 2,500円（接種費用8,500円、町負担6,000円）

带状疱疹はウイルスによって痛みを伴う水ぶくれが出現する病気であり、日常生活に支障をきたすこともある病気で、70歳代で発症する方が最も多くなっている。

○対象者

- ・年度内に65歳を迎える方
- ・60歳以上65歳未満の方で、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能の障害があり、日常生活がほとんど不可能な方。

また、2025年度から2029年度までの5年間の経過措置もある。

（※詳しい内容は町ホームページをご覧ください）

“町政を知るよい機会”
議会を傍聴してみませんか

次回の
定例会

6月 上旬

古殿町のホームページからもご覧いただけます。

古殿町 検索 → 町議会へ



古殿町議会

議会トピックス⑧

【フクシのトピラ開催】昨年に続き、気軽に楽しく福祉に触れることをコンセプトに5月31日(日)の10時～15時まで、やぶさめアリーナにおいて古殿町包括支援センター主催の「フクシのトピラ」が開催される。働く車の展示・乗車体験やステージイベントに加え、多くのキッチンカーの出店が予定され、来場者1,000人を見込んでいる。(鈴木隆)

まちの企業紹介

No.23

今回紹介するのは、「**株 藤美屋古殿アネックス**」の皆さんです。

* 会社の設立を教えてください。

平成4年から大作でカバン作り開始。

昭和32年、創業者の佐藤光治が東京都中央区新川の本社にある4坪程度の建屋で、主に女性用ハンドバッグの製造を始めました。当初カバンの製造が主でしたが、お客様の要望を受けた手作りオーダーメイドが基本です。

平成4年4月に、古殿町松川字大作で操業を開始して現在に至っています。従業員は本社を含めて14名です。



「古殿ブランド」として商品化されるバッグ

* 会社における基本的な考え方は何ですか。

「古殿ブランド」を世界へ。

弊社のモットーは、少ない個々のものをコツコツと努力して作ることです。時代のニーズに沿えるよう、社員の創意工夫により、お客様の望みに応えたいと日々努力しています。

ふるさと納税の返礼品としてカバンを使っています。新しく、「古殿ブランド」として男女兼用のカバンの製造に着手しました。広く世界に発信したいと考えています。ご期待ください。



革布裁断の様子

編集後記

鎌倉岳を愛する会が令和7年12月に発足しました。わが町には、芝山、三株山、鎌倉岳などたくさんのお名峰があります。また、越代のサクラ、憩いの森公園など、町内外からでも気軽に楽しめる場所が多くあります。

ドイツでは19世紀頃から森林浴は医療の一部であったとも言われています。杉の木は花粉症さえなければすばらしい財産であると思います。先人が夢を描いたわが町の大地にすくすくと育つ杉の美林は県下一と言われています。花粉による鼻づまりや、クシャミももう少しの我慢です。そして若葉が目によさしく映える5月の好季節を迎える日ももうすぐです。

(根本太郎兵衛)

議会だより

編集特別委員会

委員長	野崎喜彦
副委員長	鈴木隆
委員	根本重一
委員	根本太郎兵衛
委員	松崎法通

発行：古殿町議会 編集：議会だより編集特別委員会
〒963-8304 福島県石川郡古殿町大字松川字新桑原31
TEL 0247-53-4621・FAX 0247-53-4511

古殿町のホームページからご覧いただけます
<https://www.town.furudono.fukushima.jp/>